

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第5回 栃木東部地域会議
開催日時	平成30年8月22日 開会19時00分 閉会19時55分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	荒川 直巳、石川 克法、大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、 柏崎 章吉、神田 誠司、藺田 弘子、竹澤 克元、内藤 實、中澤 健次、 藤本 紀子
欠席委員氏名	石崎 久郎、神戸 透、田邊 勇輝
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	・平成31年度実施予定の地域予算提案事業について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：中嶋 所長
2 あいさつ	荻島 会長
3 議事	
議 長	・本日の出席委員数について、センターから報告願う。
センター	・栃木東部地域会議の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は13名である。 なお、田邊委員からは所用のため欠席との連絡をいただいている。
議 長	・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。
(1) 平成31年度実施予定の地域予算提案事業について	
議 長	・センターから説明願う。
センター	・(前回の地域会議までの話し合いの経過を振り返るとともに、丸沼・長瀬公園の管理 4自治会長との話し合いの結果について、大宮地区の委員に説明を求めた。)
議 長	・4自治会長を入れた話し合いについて報告願う。
委 員	・昨日、大宮地区の委員4名と4自治会長が集まって協議した。 まず、資料の上の写真のパーゴラを設置したい。設置に260万円かかる。次に、 丸沼・長瀬公園の案内板が無く、どこだろうとなるので、案内板を2箇所に設置し たい。これで300万円近くになると思うが、予算の状況を見ながらベンチも何台 か購入したい。だいたい以上のような要望となった。
委 員	・少し具体的に付け加えると、資料のパーゴラの値段99万8千円は材料費だけで、

設置すると259万円かかる、と公園緑地課から金額を出された。

委員 ・これ（資料のパーゴラの金額）は定価ではないのか。普通は定価から2割くらい引くのは当たり前で、定価で買うなんて初めて聞く。

委員 ・大宮運動広場に造ったガレージ（休憩所）は、ホームセンターで見た時に120～130万円だったから、それで十分できると思ったが、1mくらいの基礎を打って、何だかんだで300万円になってしまった。

委員 ・予算を消化するためにやっている感じがする。

委員 ・我々がガレージを造ろうとすると、ブロックをいくつか並べてそこに乗せて、中をコンクリート舗装するくらいだと思うが、今回のパーゴラの値段（260万円）には、え？という感じだった。パーゴラ（本体）は100万円しないのに。

委員 ・何社かから見積を取ればいいと思う。

委員 ・私自身会社勤めをしている時に、こういう定価を見て、積算資料を見て、建設物価を見て、金額を出すと、カタログ通りの金額を出さなくてもどンドン買えた。そして工事をすると手間賃が出たくらいだった。大宮運動広場のガレージの件があるので、積算してもらった方がよい。

委員 ・305、6万円に見合うものを地元の大宮まちづくり協議会からある業者に発注して建設するという形は採れないのか。

センター ・その形は採れない。地域予算提案制度は、所管課に予算付けすることに決まっている。

委員 ・これは本当に税金の無駄使いだと思う。今回は別にしてもこれを先に改めてもらわないと。設置費が材料費の倍以上になるなんてことは、通用しない。

委員 ・他の世界では通用しない。

委員 ・建設の積算の分厚い資料は毎月出て、金額は毎月変化しているのに全く無視されて...

委員 ・いずれにしても税金でやっているわけで、大宮運動広場の休憩所にしたって300何万円かけて、ああいう物を造るのはもったいない。

委員 ・そういうことを議会や市に言えないか。東部地域でやる工事については東部地域の業者にやってもらう、地産地消ではないけれども。

センター ・今回は無理である。

委員 ・今回は時間的に間に合わない（のは分かっている）。

委員 ・今度はふれあいトークでも質問する。

センター ・先日の地域会議連絡調整会議でも同じ話が出た。地域づくり推進課の属する総合政策部長も出席して意見を承ったようなので、将来的には変えていくことがあるかも知れないが、今回は間に合わない。

委員 ・来年辺りには変えてもらわないと税金の無駄遣いだ。

委員 ・パーゴラの話は初めて見聞きするところで、高さが3mくらいあるようだが、ここで休憩ができるのか。

委員 ・ベンチが無いから、立ったまま涼むのか。

委員 ・下がベンチになっている。1, 120mmの幅で四角いイスが付く。イスの高さは400mmになる。

委員 ・260万円かかるということは、パーゴラは1つしか設置できないということか。

- 委員 ・ 工事費がかかり過ぎる。
- 委員 ・ 工事費に160万円もかかるのはおかしい。
- 委員 ・ おかしな話だ。
- 委員 ・ おかしくても何でも駄目だって言うのだから、これは仕方ない。決められたことだから。
- 委員 ・ 仕様書通りにこれだけの基礎を入れて、アンカーを入れて固めることになる。
- 委員 ・ これはどこに抗議したらよいか。
- センター ・ 地域予算提案制度の方式そのものを変えるということは、大本が変わらない限りはこのままやるしかない。
- 委員 ・ その大本に働きかけるにはどうしたらよいか、というのが先の質問ではないか。
- センター ・ 地域づくり推進課になる。
- 委員 ・ 議員にも実際に分かってもらわないと。
- 委員 ・ 300数万円の事業を毎年やっていくと、丁度いいのが無くなる。
- 委員 ・ 継続事業として3年間やって1千万円使うという方法もある。
- 委員 ・ そういう方法を認められるように…
- 委員 ・ そうしていかないと、無駄な物を設置したり、華奢な物で間に合わせたりすることになってしまう。
- 委員 ・ 将来は市の管理に移り、市で責任を持たなければならなくなるから、市の仕様でやりたいのだろう。しかし、基準を達成すれば地元請負でも認められる方法を将来は検討して欲しい。もう一つは、単年度方式をやっていくと300万円という予算では行き詰まるから。
- 委員 ・ 継続事業をやっている地域がある。
- 委員 ・ それは駄目だと言われなかったか。
- センター ・ 基本的には駄目になっている。
- 委員 ・ 最初は駄目だったが、今は継続が出てきている。
- 委員 ・ 継続ができるようになったと言ってくれないと困る。
- センター ・ 単年度でということは言われている。
- 委員 ・ 現実に他の地域会議で継続事業が出てきているから、あとはこちらからの要求の仕方だと思う。
- 委員 ・ そういうものもきちんとしてやっていかないと、ちゃちな物しかできない。
- 委員 ・ これ（地域予算提案制度）ができた時に7年くらいは年間300万円くらいの予算は保障できるが、その後は分からないと言われた。本来ならば大宮と国府が一つになってやれる事業を取り上げるべきだったが、それが無いので今のところは別々にやっている。西部地域は3つに分けっこしているらしい。300万円だから100万円ずつというように。
- 委員 ・ 地域予算提案制度が始まって6年（正しくは4年）が経過し、弊害や問題点が出てきている。それを改めるよう大本に要望しないで、いつまでもこのままやっているとまずいと思う。やってみて初めて分かることだから。最初は300万円使えて嬉しいと思ったが。
- センター ・ 先の連絡調整会議でも、どの地域もどうしても同じような事業になってしまうので、やり方を変えないと行き詰まるのではないかと、という話が出た。

委員 ・行き詰まるのではなくて、税金の無駄遣いだし、やりたいことができない。まちづくりのために一生懸命やっているのだから、それに応えるような規約にしてもらいたい。

委員 ・正式な意見として公の場でもらって、きちんと市に検討していただくように、こちらからも言わないといけない。その場としては、ここで決議してお願いしますと出すのか、調整会議で話し合えば市が検討することになるのか、そのところをはっきりしてもらえば、我々は会長に一任するかここで決議するかということになる。

委員 ・31年度実施予定の提案事業は出しておいて、この次の調整会議などに東部地域の要望として出すのか…

委員 ・議事を先にやって、それから要望の方法のことを決めたらどうか。

議長 ・31年度実施予定の提案事業としては、先ほどの提案のように、パーゴラを造ることと、案内板を作る、その他環境整備をするということでした承をお願いしたい。(一同了承)

(2) その他

議長 ・では、改めて東部地域からの要望の方式…

委員 ・6年(正しくは4年)が経過していろんな問題が出てきているのだから、それらを書き出して、扱ってくれるところに提出したらいいのではないか。

委員 ・あるいは市の方で、経過して問題点がありますか、みたいなものを皆に書いてもらって、そのまとめを地域会議で話し合うことをやった方がよいかも知れない。

委員 ・市と市議会の両方に、東部地域としてはこういう考えですという決議文を出せばいいのではないか。

委員 ・地域会議が始まった時に、取り組みたいことのアンケートをとった。例えば大宮に運動公園を作ったらどうか、などの意見を出した。単年度で300万円の予算があるならば、国府と大宮が一緒くたになってやる事業、フェスティバルとかをやったらよいのではないか。と言うのは、大光寺から今井まで行くバイパスがあと2年くらいで完成すると思う。すごく広い道路になるので、東陽中から今泉神社までを通行止めにして、郷土の民芸や出店などで人集めをして、郷土祭りのようなものができるとうい。何かを造るとなると、300万円じゃろくな物ができない。そんなふうに、国府と大宮が共同でできるものがよいのではないか。その道路の両サイドには3mの歩道がついて、八重桜を植えることが決定している。この道路を午前9時から午後3時くらいまで通行止めにしてもらって、よさこいとか御神輿とか郷土の民芸を出して、みんなでお祭りみたいなものを行った方がよいと思う。

委員 ・要するに、ソフト事業を行った方がよいということだろう。今までハード事業が続いたから。

委員 ・それも一案だ。

委員 ・心に残るものを。

委員 ・丸沼・長瀬公園は、これだけでは整備にならない。まだ色々やるものがある。皆さんが憩うことができ、大勢集まってくれる公園として長期的な契約でやっていくことが決まった。

委員 ・この提案書を出してもらって議会にかけて、恐らく却下されることはないと思うが、

これは再来年度の実施になるのか。

センター・来年度になる。

委員・出来上がるのは3月くらいだから、再来年になる。

議長・ここで整理したいと思う。300万円の使い方として、今まではモノを作ってきた。今後は形を作るよりも、ソフト面に目を向けたらどうかという点の一つ。もう一つは、地元の業者に頼んで出来ないかという発注方式の問題がある。

委員・予算をもらったものに制約されなくて、地元で予算内できちんとしたものを作る。また、300万円くらいではたいしたものはできないから、東部地域の合意の下に3年かけて1,000万円で大事業を行うなど、やり易くて予算を無駄にしない方法、よりよいものができる仕組みにしてもらいたいのが要望だ。

委員・単年度でできるものと継続するものが出てきているが、予算の使い方をこちらの裁量で継続できるようにと決議して、申し入れすることができるのかどうか。

委員・できてもできなくても申し入れして、(仕組みを)変えてもらわないと。

委員・提案してもいいのではないかな。提案をしないとそれが当たり前だと思われる。

委員・してもいいんじゃないかと…

センター・連絡調整会議で東部地域会議の委員の意見として出したらよいのではないかな。

委員・恐らく他の地域会議からも同じ話が出ると思う。

委員・6年間(正しくは4年間)やった中での不備な点を、こうしたらよいのではないかと書面にでもして、東部地域の意見として出すとか。

委員・業者の所に行く時は、こちらで出せる金額を先に言った方がいい。

議長・(丸沼・長瀬公園の整備で)他の物も公園緑地課にお願いしたが、予算を超えてしまうので出来ないと言われた。

委員・260万円かかると聞いた時に、100万円のパーゴラが2つと、工事がそれぞれ30万円ずつかかるということかと思った。

委員・これに限らず、市で見積りをとると割引されている。

委員・今回のものはカタログ集から選んだ。

委員・そのカタログが割引されている。

委員・こちらから先に要望書を出すのか、それとも、市の主管課に4年が経過しようとしている制度について改めた方がよいことがあるか、委員全員からまたは各地域から意見を聴くということをして、3月議会までに間に合わせて変えてもらいたい。予算の単年度主義は事情によっては経年で、地元発注も認め、但し市の安全確認の作業を入れて行なってもらおう、ということを我々は要望したい。

委員・どんな問題があるかを各地域にアンケートをとってもらおう。

議長・少し整理したいと思う。まず、東部地域会議としては、どうやって調整会議に意見をもっていくべきか決めたい。両地区共通のソフト事業については、この地域会議の中で進めていくことだと思う。それとは別に、(予算の)継続とか、地元発注、地元優先とか、そういうことを地域会議の意見としてまとめて調整会議に出すべきだという意見があるが、その方向でいきたいと思う。

委員・その前に、さきほどの話にあるように、4年が経過していろんな問題が出てきていると思うから、各地域の問題点を出してくれと市にお願いして、その中で大宮地区の問題点を提起すればよいのではないかな。

- 委員 ・地域自治と市は言って地域を分けた訳だから、東部地域でやることは東部地域会議で決めるのがよい。
- 議長 ・両地区共通のソフト事業を決めていくのはよいと思う。これは地域内の問題であって…
- 委員 ・それは問題ではない。
- 議長 ・それは地域内で考えればよいことで、先程から出ている問題として、300万円という金額を継続（複数年度）できるかどうかということがある。もう一つは、発注方式として、例えば公園の問題については公園緑地課が主体となって発注しているが、これを地元方式に変えられるのかどうか。特に役所の仕事の中で…
- 委員 ・変えることができるのかではなくて、変えてもらいたい。地元で…
- 議長 ・変えてもらいたいと言っても…
- 委員 ・各地域の会長が意見を出せば、市もかなり考えると思う。
- 委員 ・地元にも指定業者はいるが、地元の業者に地域会議が発注できるかどうか問題だ。できるのか。
- 委員 ・それを直していく。
- 委員 ・それを願います。
- センター ・要望として出すしかないのではないか。できるかできないか、どういう答えが返ってくるか分からないが、この前の連絡調整会議でも同じような意見は出ていたので、東部地域としても同じような意見を持っているということで改めて要望を出していくしかないのではないか。
- 委員 ・まちづくりの要綱を変えてもらわないと。役所はそこから入らないとできない。
- 委員 ・急がないと3月までに終わらないから。
- 委員 ・その3点くらいは出してもらって、口裏を合わせないと。
- 委員 ・こういう問題は他の地域でも出てくると思う。
- 委員 ・悩みは同じだ。
- 議長 ・まず1点目のソフト事業で、東部地域で統一のものを行うということは、（地域会議の）中の話なのでその方向で進めたいと思う。2点目は、300万円という金額が継続（2年で600万円）できるか、それともう一つは、工事や作業がある場合は、地域内の業者への発注を認めてもらいたいという要望書を出すということでよろしいか。（一同了承）
- 委員 ・先ほどのお金の話に戻るが、（パーゴラの工事で）100万円の物を建てるのに160万円かかるのが、工事困難地域であるとか、ものすごく立地条件が悪いとか、地盤がどうしようもないとか、どこかの幼稚園みたいに下がゴミだらけで何メートルも掘るとかなら別だが、普通の公園に4メートルくらいの物を建てるのに160万円もかかるのか、素朴な疑問だ。
- 委員 ・工事を発注した経験者として言うと、純然たる工費が例えば40～50万円だとすると、入札の場合は当然その他に管理費というのが50万円くらいかかる。労災保険やいろんな保険に入る費用などが…
- 委員 ・いずれにしても中のことだから仕方ないのではないか。
- 委員 ・入札をやっている以上は（管理費は）付いてくる。
- 委員 ・99万8,000円だけど259万円かかるとなっているから仕方ない。

- 委員 ・そういう風に言われるけれども…
- 委員 ・(納得できないのは) 分かっているけど、仕方がない。
- 委員 ・ホームセンターで買う時は、(工事代) 込みで出ている。
- 委員 ・今、日本で管理費のない工事はない。
- 委員 ・市の方で建てるのにこれだけかかるとしているのだから仕方がない。今度は、東部地域で発注してそれ以上のものを造ることを認めてもらうよう要望するのだから、今回は仕方がない。
- 委員 ・31年度はもう間に合わない。
- 委員 ・仕方がないけれども、文句つけるだけつけておいて、だからこういう意見が出ると言わなければ、納得できない。
- 委員 ・誰だって納得できない。
- 委員 ・うちでカーポートを造った。10万円くらいで買ってプラス2万円くらいの工事費だった。こういう実態があるから、あまりにも常識と違い過ぎる。
- 委員 ・大宮運動広場に休憩所を造った時に、市に要望書を出しておけばよかった。そうすれば少しは解決したかも知れない。
- 委員 ・32年度に向けて各地域で結束して、市の要綱を変えてもらうしかない。
- 委員 ・何度も言うけれども、例えば国や県の公の工事の純然たる工費は、半分も無い。その他に管理費が色々付く。それが世の中の工事の全般で出ているのに、材料費が100万円くらいかかったから工費込みで150万円くらいでいいんじゃないかとなると、私が積算した訳ではないが、もう少しかかるのではないかと思う。
- 委員 ・税金だからそれでやれるけど、一般大衆はそれでは出来ない。
- 委員 ・入札ならば安くなる。役所に出すのは簡単だから、入札ではなくて役所でも300万円以下の工事は匿名で出せる。
- 委員 ・随意契約しているからだ。
- 委員 ・積算というのはそういうものだと話ただけだ。
- 委員 ・今までの慣習というものが出来ているから。
- 委員 ・地域内で頼むというよりは、取引する前の入札などの方法にするならよい。逆に地域内から業者を選ぶとなると、知り合い同士で、なあなあになることもある。
- 委員 ・それだと役所では責任を取れなくなる。
- 委員 ・安全面を担保すればいいという方向に持っていきたい。
- 委員 ・西部地域は分けているという話があったが、300万円ではたいした工事が出来ないことが教訓として分かった。他の物で消耗品なんかは購入できるのか。見回り隊のメッシュの(ベスト)などの方が地域に回り、受け取った感がある。交通指導で困っているところも、そういう物の方が、100万円の建物を建てるのに全部で260万円かかるということよりは、地域の皆さんも納得できるものになると思う。
- 委員 ・認められる。
- 議長 ・各委員さんには今までの各年度の他の地域会議で決まった提案事業がまとまったものが配付されている。それを見て来年度以降の提案事業を考えていきたい。消耗品を買う地域、音響のアンプが高いので今年1つ買って来年もう1つ買うという地域もある。そういう他の地域の提案内容も見て、改めて考え方を決めていっていただけるとよい。

委員 ・固定資産に引っかけるとかなり高くなるが、ハード面（正しくはソフト面）なら恐らく有効な予算の使い方ができる。

議長 ・10月5日の連絡調整会議で、予算を継続できるかと発注方式の2つを発言したいと思う。

センター ・その日は事業計画書を市長に提出するだけになる。

議長 ・その他のところで言うことにする。

4 その他

(1) 事務連絡

センター ・次回会議は9月26日（水）午後7時から国府公民館で開催する。

以上